
日本人物文献索引

政治

・
経済

・
社会

2005

！
2019

凡 例

1. 収録期間と範囲

2005年4月～2019年12月に国内で刊行された日本語の図書・雑誌・紀要類の中から、戦国大名・豪商など歴史上の人物から、近現代の政治家、法律家、実業家、社会運動家、福祉家まで6,711人についての人物文献（伝記・日記・回想録・人物論・報道記事・年譜・著作目録等）71,502件を収録した。

2. 見出し語

- (1) 見出し語は本姓名によったが、通称・別称等が一般的と思われるものはそれを採用した。
- (2) 漢字は原則常用漢字・新字とした。
- (3) 検索の便を図るため、適宜参照を用いた。

3. 見出しの排列

- (1) 見出し語の読みの五十音順とした。その際、姓名の読みを一単位として排列した。
- (2) 濁音・半濁音は清音扱いとし、ヂ→ジ、ヅ→ズとした。拗音・促音は直音扱い、長音符（音引き）は無視した。
- (3) 世系などがある場合は必要に応じて補記した。

4. 文献の排列と記載の形式

(1) 排 列

見出し語のもとに【図書】【雑誌】の順とし、各々の下は刊行年月順とした。

(2) 記載の形式

下記の原則によって記載した。

1) 図書

◇書名—副書名／巻次／（著編者等）／出版者／刊行年月／ページ数または冊数／（叢書名）

例) ◇伝説の日本史—歴史をつくった陰の主役たち 第3巻（井沢元彦著）光文社
2019.11 340p（光文社知恵の森文庫）

なお、論集・図書の一部分については以下のように記載した。

◇論題／（著者）／『書名』／（著編者等）／出版者／刊行年月／掲載ページ
例) ◇晩年の渋沢栄一と渋沢敬三（由井常彦）『歴史の立会人—昭和史の中の渋沢敬三』
（由井常彦，武田晴人編）日本経済評論社 2015.1 p299～308

2) 雑誌の論文

◇論題／（著編者）／「誌名」（発行者）／巻（号）／発行年月／掲載ページ
例) ◇日本文明の先駆者（3）副島種臣（坪内隆彦）「月刊日本」K&K プレス 12（2）
2008.2 p82～89

5. 参考資料

主に以下のデータベースを参考にした。

BookPlus

JAPAN/MARC

MagazinePlus

大学人間科学部紀要」常磐大学人間科学部 36(2) 2019.3 p132～117
 ◇訳注 會澤正志齋「中庸釋義」訳注稿(11)(會澤正志齋,松崎哲之訳)「人間科学:常磐大学人間科学部紀要」常磐大学人間科学部 37(1) 2019.9 p146～131

相沢 英之 あいざわ ひでゆき

【図 書】

◇相沢英之と司葉子人生100歳「一日生涯」―夫婦で長生き、笑顔で生きる“100の知恵”(相沢英之著) 双葉社 2018.4 255p

【雑 誌】

◇摘発「詐欺会社」と浅からぬ縁だった「相沢英之・司葉子」夫妻(ワイド 人気者で行こう!)「週刊新潮」新潮社 54(28) 2009.7.23 p47～48

◇司葉子の夫「相沢英之」事務所が7000兆円詐欺の舞台(ワイド 運命の一日)「週刊新潮」新潮社 54(31) 2009.8.13 p46～47

◇我が国の興衰、教育にあり! 人間形成は百年の計なり 我が国を支える人材の育成 東京福祉大学・大学院のミッション 東京福祉大学 学長相沢英之(相沢 英之,田崎 喜朗)「財界人」財界人出版 23(3) 2010.3 p40～43,6～7

◇「相沢英之」逮捕なら「司葉子」「相田翔子」が危ない(ワイド 悪い噂 変な噂)「週刊新潮」新潮社 55(43) 2010.11.11 p29

相沢 秀禎 あいざわ ひでよし

【雑 誌】

◇レポート&インタビュー 設立40周年 サンミュージックプロダクション・相澤秀禎会長が語る“人材発掘の極意”(相澤 秀禎,大和 賢治)「経済界」経済界 43(2) 2008.1.22 p108～109

愛新覚羅 浩 あいしんかくら ひろ

【図 書】

◇日中のかけはし―愛新覚羅溥儀家の軌跡(関西学院大学博物館編) 関西学院大学博物館 2017.6 71p

◇愛新覚羅浩展―ラストエンペラーの実弟に嫁いだ日本人女性の愛と苦悩:平成30年度特別展:展示図録(東京都 杉並区立郷土博物館編) 杉並区立郷土博物館 2018.10 63p

愛田 武 あいだ たけし

【図 書】

◇歌舞伎町の住人たち(李小牧著) 河出書房新社 2005.8 225p

◇ホスト王・愛田武一夜を創った男たち(倉科遼著) オフィスケイ,実業之日本社(発売) 2006.10 239p

◇ホストの女房(愛田朱美著) 河出書房新社 2009.8 179p(河出文庫)

会田 雄次 あいだ ゆうじ

【図 書】

◇歴史を探る・人生を探る(池波正太郎著) 河出書房新社 2006.6 250p

◇日本の信義―知の巨星十人と語る(猪瀬直樹著) 小学館 2008.6 220p

【雑 誌】

◇日英戦争の遺したものの(1)「ビルマの琴琴」と「アーン収容所」(原田 俊明)「学苑」光葉会 (853) 2011.11 p11～22

愛知 揆一 あいち きいち

【雑 誌】

◇忘れがたき政治家(86) 愛知揆一―歴史の流れを見据え、「政策」に生きたステーツマン(荻野 直紀)「月刊自由民主」自由民主党 668 2008.11 p100～106

愛知 治郎 あいち じろう

【図 書】

◇ジミシユラン―自民党人物ガイド(ミシユランリタイヤ編) 第三書館 2010.3 265p

【雑 誌】

◇巻頭インタビュー 硬直化した復興政策を変革する 若き復興リーダーの挑戦 前復興副大臣・財務副大臣 愛知治郎氏(愛知治郎)「リスク対策.com:危機管理とBCPの専門誌」新建新聞社 45 2014.9.25 p4～6

相場 英雄 あいば ひでお

【雑 誌】

◇ブックレビュー interview 著者に聞く【デフォルト】を書いた 経済ジャーナリスト 相場英雄(相場 英雄)「週刊東洋経済」東洋経済新報社 5990 2005.11.19 p173

◇連載対談 外野の直言、在野の直感(第19回)菅原文太×相場英雄「震える牛」が人類に伝えること(菅原 文太,相場 英雄)「本の窓」小学館

35(7) 2012.8 p8～17

◇「血の轍」相場英雄(こんげつのブックマーク EX)(杉江松恋取材・文)「ダ・ヴィンチ」メディアファクトリー 20(3) 2013.3 p54～55

◇「トラップ」相場英雄(こんげつのブックマーク EX)(樺山美夏取材・文)「ダ・ヴィンチ」メディアファクトリー 21(3) 通号239 2014.3 p56～57

◇「御用船掃還せず」相場英雄(こんげつのブックマーク EX)(樺山美夏取材・文)「ダ・ヴィンチ」メディアファクトリー 22(11) 通号259 2015.11 p56～57

◇「言いたい放題(第8回)相場英雄「ガラバゴス」は日本の近未来を予見する(井家上隆幸)「出版人・広告人」出版人 2016.5 p80～84

◇「不発弾」刊行記念インタビュー 「バブル」プームの正体は予防策? 損失爆弾の連続着火が始まった(相場英雄)「波」新潮社 51(3) 通号567 2017.3 p28～31

◇「血の雫」刊行記念対談 やっぱりネットはバカと暇人のもの(特集 ダイアローグ!) (相場英雄,中川淳一郎)「波」新潮社 52(11) 通号587 2018.11 p24～27

青井 忠治 あおい ちゅうじ

【図 書】

◇昭和の墓碑銘(週刊新潮編) 新潮社 2006.2 255p(新潮新書)

◇リーダーの心得ハンドブッカー部下のやる気に火をつける! (佐藤祐二郎著) PHP研究所 2008.2 229p

青木 伊平 あおき いへい

【図 書】

◇権力者 血脈の宿命―安倍・小泉・小沢・青木・竹下・角栄の裸の実像(松田賢弥著) さくら舎 2015.1 219p

青木 巖 あおき いわお

【雑 誌】

◇トップの履歴書 青木巖/Aセット・マネジャーズ社長 フジタ出身の30歳代社長。ファンド残高1兆円に照準「週刊東洋経済」東洋経済新報社 6000 2006.1.28 p92

◇島田晴雄の企業訪問 21世紀の未来型企業と経営者(最終回) 青木巖 Aセット・マネジャーズ社長 日本発投資銀行を目指す投資ファンドの先駆者(島田 晴雄)「経済界」経済界 42(12) 2007.6.19 p124～126

青木 昆陽 あおき こんよう

【図 書】

◇年譜青木昆陽伝(青木七男編) 青木七男 2005.7 236p 図版16p

◇江戸人物科学史―「もう一つの文明開化」を訪ねて(金子務著) 中央公論新社 2005.12 340p(中公新書)

◇江戸の町人学者(田中政治著) ブイツーソリューション,星雲社(発売) 2008.1 207p

◇日本人の気概を育てる道徳授業(河田孝文監修,中山崇編著) 明治図書出版 2008.10 147p(TOSS道徳「心の教育」シリーズ)

◇偉人が愛したスイーツ・クリームとドリアの冒険 吉田菊次郎先生のお菓子レシピ(吉田菊次郎編・著,クリームドリアムズプロデュース) 時事通信出版局,時事通信(発売) 2008.12 125p

◇房総人物伝―千葉ゆかりの先覚者たち(川村優著) 嵩書房出版 2012.3 265p

◇農業者という生き方(藤井久子著) ベリかん社 2014.9 190p(発見! しごと偉人伝)

◇知の開拓者 杉田玄白―「蘭学事始」とその時代(片桐一男著) 勉誠出版 2015.1 301p

◇前野良沢―生涯一日のごとく 新装版(鳥井裕美子著) 思文閣出版 2015.4 307p

【雑 誌】

◇青木昆陽(一六九八～一七六九)―薩摩芋をめぐる謎(房総に生きた人びとと歴史―近世)(笹川 裕)「千葉史学」千葉歴史学会 54 2009.5 p111～113

青木 定雄 あおき さだお

【図 書】

◇在日コリアンの経済活動―移住労働者、起業家の過去・現在・未来(李淳任編著) 不二出版 2012.2 269p

【雑 誌】

◇在日コリアンの起業家精神とエスニック・アイデンティティ―エムケイ・グループ創業家・青木定雄の事例研究(朴 一)「経済学雑誌」大阪市立大学経済学会,日本評論社 110(4) 2010.3 p106～118

青木 周蔵 あおき しゅうぞう

【図 書】

◇明治国家の政策と思想(大塚孝明編) 吉川弘文館 2005.10 284p

◇条約改正交渉史―1887～1894(大石一男著) 思文閣出版 2008.10 338p

◇人物で読む近代日本外交史―大久保利通から広田弘毅まで(佐道明広,小宮一夫,服部竜二編) 吉川弘文館 2009.1 316p

◇桂太郎関係文書(千葉功著) 東京大学出版会 2010.1 542p

◇事典 有名人の死亡診断 近代編(服部敏良著) 吉川弘文館 2010.5 346,31p

◇小田実全集 評論 8(小田実著) 講談社 2011.1 258p

◇近代日本とアジア―明治・思想の実像(坂野潤治著) 筑摩書房 2013.10 216p(ちくま学芸文庫)

◇青木周蔵―渡独前の修学歴(森川潤著) 丸善出版 2018.6 284.17p(広島修道大学学術選書)

【雑 誌】

◇「青木周蔵筆記」の詩と真実―渡独前の経歴を中心として(森川 潤)「広島修大論集 人文編」広島修道大学人文学会 48(1) 2007.9 p446～416

◇青木周蔵―日本・ドイツ・オーストリアの絆(特集 オーストリアの歴史と現在)(Niklas Salm-Reifferscheidt,前田 智成訳)「上智ヨーロッパ研究」上智大学 2 2009 p1～14

◇青木周蔵の渡独前の修学歴(2) 漢学の修業時代(森川 潤)「広島修大論集」広島修道大学学術交流センター 50(2) 2010.2 p57～85

◇青木周蔵の渡独前の修学歴(1) 寺子屋での学習時代(森川 潤)「広島修大論集」広島修道大学学術交流センター 51(1) 2010.9 p129～170

◇青木周蔵の渡独前の修学歴(3) 萩城下における蘭学の修業時代(Malcolm John Beuson教授退職記念号)(森川 潤)「広島修大論集」広島修道大学学術交流センター 54(1) 2013.9 p35～65

◇青木周蔵の渡独前の修学歴(4) 長崎遊学時代(その1) 蘭学一変の時節(森川潤)「広島修大論集」広島修道大学学術交流センター 56(1) 通号107 2015.9 p1～24

◇青木周蔵の渡独前の修学歴(4) 長崎遊学時代(その2) 修学(森島吉美教授退職記念号)(森川潤)「広島修大論集」広島修道大学学術交流センター 57(1) 通号109 2016.9 p1～27

◇野稿一章:青木周蔵の「遠遊」上書(森川潤)「広島修大論集」広島修道大学学術交流センター 57(2) 通号110 2017.2 p1～17

青木 豊彦 あおき とよひこ

【雑 誌】

◇INTERVIEW 株式会社アオキ 青木豊彦社長「航空宇宙」を東大阪の地場産業に(青木 豊彦,真島 弘)「イグザミナ」イグザミナ 264 2009.9 p46～48

◇人工衛星を打ち上げた「ものづくり」のメッセンジャー 青木豊彦 アオキ社長「産業新潮」産業新潮社 59(12) 2010.12 p38～41

青木 一 あおき はじめ

【図 書】

◇日本人を考える―歴史・民俗・文化(宮本常一著) 河出書房新社 2006.3 237p

【雑 誌】

◇きょういくズームアップ 達人29人から抽出した授業力―若手教員向け「スタンダード」を開発した青木一・末永昇一・千葉市教育センター(青木 一,末永 昇一)「内外教育」時事通信社 5997 2010.5.28 p6～7

青木 初夫 あおき はつお

【雑 誌】

◇21世紀インタビュー 透明性と情報開示をベースに国の指針を議論し、根本改革を 青木初夫 アステラス製薬 相談役(青木 初夫,伊藤 千恵)「産業新潮」産業新潮社 58(6) 2009.6 p7～13

◇特別インタビュー 医薬品業界の激動の30年 ラクオリア創業取締役(元アステラス製薬会長,元日本製薬工業協会会長) 青木初夫 黄金時代から「挑戦する時代」に(青木初夫)「医薬経済」医薬経済社(1558) 2018.2.15 p12～14

青木 幹雄 あおき みきお

【図 書】

◇逆臣 青木幹雄(松田賢弥著) 講談社 2008.6 254p

◇ジミシユラン―自民党人物ガイド(ミシユランリタイヤ編) 第三書館 2010.3 265p

◇政局―権力闘争の仕掛け人たち(大下英治著) 竹書房 2012.11 115p

(竹書房文庫)

◇内閣官房長官秘録(大下英治著) イースト・プレス 2014.10 431p(イースト新書)

◇権力者 血脈の宿命―安倍・小泉・小沢・青木・竹下・角栄の裸の実像(松田賢弥著) さくら舎 2015.1 219p

【雑 誌】

◇FOCUS政治 天王山を迎える郵政民営化法案 故竹下の遺志継ぐ? キーマン青木の出方(塩田 潮)「週刊東洋経済」東洋経済新報社 5960 2005.6.4 p120～121

◇「小泉vs・反小泉」緊迫の票読み(赤坂太郎)「文芸春秋」文芸春秋 83(12) 2005.9 p224～228

◇「青木幹雄」にも見放された島根県「竹島の日」(「嫌日」韓国に「踏く」日本)「週刊新潮」新潮社 51(12) 2006.3.30 p150～151

◇「松岡自殺」で検察のターゲットに浮上した「青木幹雄」(「週刊新潮」新潮社 52(23) 2007.6.21 p28～30

◇新車の9割を「エコカー補助金」の対象にした「青木幹雄」(ワイド 柳に風)「週刊新潮」新潮社 54(16) 2009.4.23 p50

◇出所「村上正邦」元労働相が「青木幹雄」と和解した面会室(ワイド 前門の寅 後門の狼)「週刊新潮」新潮社 55(1) 2009・10.12・1.31 p53

◇父の脳梗塞でスムーズに世襲と言われる「青木幹雄」長男(われら衆愚の審判)「週刊新潮」新潮社 55(28) 2010.7.22 p35～36

青島 幸男 あおしま ゆきお

【図 書】

◇テレビの黄金時代(小林信彦著) 文芸春秋 2005.11 380p(文春文庫)

◇芸芸日記 一九九六・二〇〇五(高田文夫著) 筑摩書房 2006.6 430p(ちくま文庫)

◇ちよっとまった! 青島だァ(青島幸男著) 岩波書店 2006.12 128p(双書時代のカルテ)

◇総理大臣とケンカした男―青島幸男の政治信条 議事録ダイジェスト版(青島幸男著) ハロディ社 2007.7 143p

◇毎日が大衆芸能―榎楽・榎楽・お道楽 しょの3(高田文夫著) 中央公論新社 2008.6 279p(中公文庫)

◇気楽な稼業ときたまんだ(砂田実著) 無双舎 2010.12 247p

◇戦後詩―ユリシーズの不在(寺山修司著) 講談社 2013.8 253p(講談社芸文庫)

◇昭和に火をつけた男青島幸男とその時代(森炎,青島幸男著) 講談社 2013.12 243p

◇芸能人の帽子―アナログTV時代のタレントと芸能記事(中山千夏著) 講談社 2014.11 541p

◇誰も書けなかった「笑芸論」―森繁久弥からビートたけしまで(高田文夫著) 講談社 2015.3 231p

◇誰も書けなかった「笑芸論」―森繁久弥からビートたけしまで(高田文夫著) 講談社 2017.3 249p(講談社文庫)

◇気楽な稼業ときたまんだ(砂田実著) エンバワメント研究所 2017.7 247p

◇昭和のテレビと昭和のあなただ―前田武彦、青島幸男、永六輔、大橋巨泉、藤村俊二、愛川欽也、坂本九、立川談志(奥山侑伸著) 海豹舎 2017.11 242p

◇あの世に持っていくにはもったいない 陳平ここだけの話(野末陳平著) 青春出版社 2018.2 239p

青地 農 あおち しん

【図 書】

◇ひとり起つ―私の会った反骨の人(鎌田慧著) 平原社 2007.11 269p

◇ひとり起つ―私の会った反骨の人(鎌田慧著) 岩波書店 2014.11 308p(岩波現代文庫)

◇戦後史の現場検証―ルポライターの取材メモから(植田康夫編) 創元社 2016.4 580p

青砥 藤綱 あおと ふじつな

【図 書】

◇親屬と青砥藤綱―東京下町の歴史伝説を探る 平成十七年度特別展(葛飾区郷土と天文の博物館編) 葛飾区郷土と天文の博物館 2005.11 161p

◇司馬遼太郎 歴史のなかの邂逅 1(司馬遼太郎著) 中央公論新社 2007.4 410p

◇司馬遼太郎歴史のなかの邂逅 1(司馬遼太郎著) 中央公論新社 2010.9 269p(中公文庫)

【雑 誌】

◇「板倉政要」の影響:「鎌倉比事」と「本朝藤陰比事」を中心に(周

瑛)「和漢語文研究」京都府立大学国文学会 (10) 2012.11 p16~29
 ◇黄表紙の批判性の再考—青砥藤蔭像を使用する寛政年間の黄表紙の特徴をめぐって(研究発表)(Csendom Andrea)「国際日本文学研究会 学会議録」人間文化研究機構国文学研究資料館 38 2015.3 p47~60

青野 仲達 あおの・ちゅうたつ

【図 書】

◇起業家たちのキメゼリフーモテカフェMESSAGE BOOK (TOKYO FM「モチカフェ」著) ゴマブックス 2006.3 95p

【雑 誌】

◇今週の社長・青野仲達氏(GABA)〔前編〕“新しい英会話学校”で躍進する若き社長が“マンツーマン”で腹を割る(おちまさとプロデュース社長の腹 [105]) (青野仲達, おちまさと)「SPA!」扶桑社 55(35) 2006.8.1 p156~157

◇今週の社長・青野仲達氏(GABA)〔後編〕「2015年までに英語を日本人の得意言語に」。大胆不適な社長が描く夢(おちまさとプロデュース社長の腹 [106]) (青野仲達, おちまさと)「SPA!」扶桑社 55(37) 2006.8.8 p134~135

青野 慶久 あおの・よしひさ

【雑 誌】

◇この人に聞く 日本のソフトの力を世界に示す開拓者に—青野慶久(サイボウズ社長)(青野 慶久, 山田 雄大)「週刊東洋経済」東洋経済新報社 5977 2005.9.10 p66~67

◇Interview サイボウズ株式会社 代表取締役社長 青野慶久—3名で起業した会社をグループウェア製品を核に「百年続く世界企業」にしたい(青野 慶久, 廣川 州伸)「近代中小企業」中小企業経営研究会 43(3) 2008.3 p4~7

◇表紙のインタビュー 青野慶久(サイボウズ社長)「チームワークを根付かせ、普及させることで次の成長につなげたい」(青野 慶久, 清水 克久)「経済界」経済界 43(21) 2008.10.28 p19~22

◇私の人材教育論 青野慶久氏 サイボウズ 代表取締役社長 重要なのはビジョンへの共感。それ以外は多様でいい(青野慶久, 村上敬)「人材教育：HRD magazine」日本能率協会マネジメントセンター 28(8) 通号322 2016.8 p16~23

◇企業トップインタビュー 青野慶久さん サイボウズ株式会社 代表取締役社長 一律のルールはいらない 働き方の改革ではなく多様化を(青野慶久, 石田ゆう子)「月刊総務」月刊総務, ウィズワークス(発売) 56(4) 通号674 2018.4 p8~10

青柳 善吾 あおやぎ・ぜんご

【雑 誌】

◇青柳善吾の音楽鑑賞教育観(三村 真弓)「エリザベト音楽大学研究紀要」エリザベト音楽大学 25 2005 p27~36

◇青柳善吾の唱歌教材観—大正期の童謡批判を通じて(鈴木 治)「音楽教育学」日本音楽教育学会 36(2) 2006 p1~11

青山 忠俊 あおやま・ただとし

【図 書】

◇新訳 名将言行録—大乱世を生き抜いた192人のサムライたち(岡谷繁実著, 兵頭二十八編訳) PHP研究所 2008.10 291p

◇戦国武将 引き際の継承力(童門冬二著) 河出書房新社 2009.1 240p

◇「名将言行録」乱世の人生訓(兵頭二十八著) PHP研究所 2016.6 365p (PHP文庫)

青山 虎之助 あおやま・とらのすけ

【図 書】

◇雑誌は見ていた—戦後ジャーナリズムの興亡(植田康夫著) 水曜社 2009.11 338p

◇文壇栄華物語(大村彦次郎著) 筑摩書房 2009.12 146p(ちくま文庫)

青山 幸利 あおやま・よしとし

【図 書】

◇新訳 名将言行録—大乱世を生き抜いた192人のサムライたち(岡谷繁実著, 兵頭二十八編訳) PHP研究所 2008.10 291p

◇「名将言行録」乱世の人生訓(兵頭二十八著) PHP研究所 2016.6 365p (PHP文庫)

青山 禄郎 あおやま・ろくろう

【図 書】

◇グットサンのお忘れぬ七人—設立と発展に関わった男たち(下風憲治著, 片山豊監修) アイサイト, 三樹書房(発売) 2010.3 247p

◇グットサンのお忘れぬ七人—設立と発展に関わった男たち(下風憲治

著, 片山豊監修) 片山豊記念館, 三樹書房(発売) 2017.10 247p

赤石 千衣子 あかいし・ちえこ

【雑 誌】

◇インタビュー 赤石千衣子さんに聞く ひどり親家庭のエンパワーメントをめざして:「しんぐるまざあず・ふぉーらむ」の取り組み(特集 貧困に立ち向かう子どもの育ち)(赤石千衣子)「月刊社会教育」国土社 59(8) 通号718 2015.8 p11~16

◇ビープル 赤石千衣子さん しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長 シングルマザーに必要な支援は、労働環境の改善と生活サポート(赤石千衣子, 白井美樹)「地域保健」東京法規出版 48(6) 2017.11 p58~61

赤井 米吉 あかい・よねきち

【図 書】

◇思想のレクイエム—加賀・能登が生んだ哲学者15人の軌跡(浅見洋著) 春風社 2006.4 259p

【雑 誌】

◇1920年代における赤井米吉の教育思想: 宗教的・神秘的、かつ社会改造的思想を中心に(李 舜志)「研究室紀要」東京大学大学院教育学研究科基礎教育学研究室 (39) 2013.9 p127~136

赤尾 敏 あかお・びん

【図 書】

◇日本の右翼(猪野健治著) 筑摩書房 2005.4 377p(ちくま文庫)

◇言論統制列島—誰もいかなかった右翼と左翼(鈴木邦男, 齋藤貴男, 森達也著) 講談社 2005.6 238p

◇戦後の肖像—その栄光と挫折(阪正康著) 中央公論新社 2005.7 354p(中公文庫)

◇愛国と米国—日本人はアメリカを愛せるのか(鈴木邦男著) 平凡社 2009.6 238p(平凡社新書)

◇愚心の告白—我が国家主義運動の事績(小松憲一著) 風詠社, 星雲社(発売) 2016.1 372p

◇愛の右翼赤尾敏—91歳の生涯で3万回以上の注説法を行った「伝説の右翼」(赤尾由美著) マキノ出版 2018.4 202p

赤木 桁平 あかぎ・こうへい

【図 書】

◇戦間期の「夜明け前」—現象としての世界戦争(中山弘明著) 双文社出版 2012.10 302p

赤城 徳彦 あかぎ・のりひこ

【図 書】

◇権力者 血脈の宿命—安倍・小泉・小沢・青木・竹下・角栄の裸の実像(松田賢弥著) さくら舎 2015.1 219p

【雑 誌】

◇赤城農相「身体検査」に失敗した「マスケな少年官邸団」(ワイド「ポスト安倍」の大暗闘)「週刊新潮」新潮社 52(27) 2007.7.19 p26~27

◇赤城徳彦—またしてもあり得ない失態をやらしかした安倍内閣に起死回生のシナリオはあるか?(今週の顔 PEOPLE THIS WEEK)「SPA!」扶桑社 56(36) 2007.7.24 p4

◇諸悪の根源「赤城前農相」は同僚にも後援会にも「謝罪なし」(ワイド 永田町が抱える「重い後遺症」)「週刊新潮」新潮社 52(31) 2007.8.16・23 p30

◇政治 「バンソウコウ王子」赤城徳彦前農相(コラム・10の眼)(上杉隆)「新潮45」新潮社 26(9) 2007.9 p186~187

◇バンソウコウ赤城元農水相は「登院拒否症」だって(ワイド 表舞台から「消えた人々」)「週刊新潮」新潮社 53(1) 2008.1.3・10 p72~73

◇絆創膏「赤城元農相」の刺客になる? 「元キャパ嬢」太田議員(ワイド 21世紀を憂える戯曲集)「週刊新潮」新潮社 53(3) 2008.1.24 p52~53

◇政治 歴史的失敗! 激動の政局のなか、あの政治家たちの動向は?—自民党/山崎拓/中川昭一/小泉チルドレン/赤城徳彦/海部俊樹(人生いろいろワイド・あの「没落有名人&政治家」勝手に再生計画)「SPA!」扶桑社 58(40) 通号3196 2009.9.22・29 p36~38

赤沢 亮正 あかざわ・りょうせい

【図 書】

◇ジミンシユラン—自民党人物ガイド(ミンシユランリタイヤ編) 第三書館 2010.3 265p

明石 掃部 あかし・かもん

【図 書】

◇悲劇の名将たち(植村久慶著) 中央公論新社 2005.9 291.7p

◇明石掃部(森本繁著) 学習研究社 2006.12 269p(学研M文庫)

◇史伝明石掃部—最後のキリシタン武将(小川博毅著) 橙書房 2012.12 276p

◇明石掃部の研究(大西泰正著) 明石掃部の研究刊行会 2012.12 49p

◇大阪の陣名將列伝(永岡慶之助著) 学陽書房 2014.3 285p(人物文庫)

◇名家老たちの危機の戦略戦術—戦い・内紛・財政破綻の秘策(加来耕三著) さくら舎 2014.8 286p

◇宇喜多秀家と明石掃部(大西泰正著) 岩田書院 2015.5 141p

◇大阪の陣 秀頼七将の実像(三池純正著) 洋泉社 2015.10 223p(歴史新書)

◇戦国武将「旗指物」大鑑 増補 新版(加藤鉄雄著) えにし書房 2016.8 286p

【雑 誌】

◇明石掃部全登—戦地に挑み続けた奇謀のキリシタン武将(特集 炎の仁将 大谷吉継の生涯—特集評伝 義に生き情に殉じた名將の熱き生き様)(八尋 舜石)「歴史読本」新人物往来社 54(7) 2009.7 p164~169

明石 全登 あかし・ぜんとう

⇒明石掃部(あかしかもん)を見よ

明石 元二郎 あかし・もとじろう

【図 書】

◇豪快痛快世界の歴史を変えた日本人—明石元二郎の生涯(清水克之著) 桜の花出版, 星雲社(発売) 2009.11 365p

◇世界の「スパイ」秘密ファイル(グループSKIT編著) PHP研究所 2010.7 251p (PIIP文庫)

◇「坂の上の雲」まるわかり人物烈伝 工作員篇(明治「時代と人物」研究会編著) 徳間書店 2010.10 333p(徳間文庫)

◇日本の謀略—明石元二郎から陸軍中学校まで(榎本捨三著) 光人社 2010.11 305p(光人社NF文庫)

◇明石元二郎大佐—日露インテリジェンス戦争を制した天才情報参謀 帝政ロシア破壊工作報告書を読み解く(前坂俊之著) 新人物往来社 2011.1 302p

◇こころに残る現代史—日本人の知らない日本がある(白駒妃登美著) KADOKAWA 2014.1 195p

◇世界の諜報機関FILE(国際情報研究倶楽部編) 学研パブリッシング, 学研マーケティング(発売) 2014.3 265p

◇20世紀の軍人列伝(有馬恒次郎, 内田弘樹, 佐藤俊之, 日野景一, 松田孝宏著) イカロス出版 2014.4 259p(ミリタリー選書)

◇寺内正毅宛明石元二郎書翰—付「落花流水」原稿(「大秘書」)(明石元二郎著, 尚友倶楽部史料調査室, 広瀬順晴, 日向玲理, 長谷川貴志編集) 芙蓉書房出版 2014.4 252p(尚友ブックレット)

◇工作員・西郷隆盛—謀略の幕末維新史(倉山満著) 講談社 2017.11 219p(講談社プラスアルファ新書)

◇勇気をくれる日本史 誰も知らない偉人伝(白駒妃登美著) KADOKAWA 2018.6 261p(角川文庫)

【雑 誌】

◇日露戦争外史に輝く明石元二郎大佐(賢者は歴史から学ぶ—古代~明治篇—私が学んだ日本史上の人物)(佐々 淳行)「文芸春秋special」文芸春秋 3(4) 2009.秋 p34~36

◇明石元二郎元台湾総督のお墓を訪ねて(堤 尚広)「交流」交流協会 824 2009.11 p47

◇明石元二郎 「大戦略」最強の担い手(「坂の上の雲」日本人の奇跡—10人のリーダー「決断の極意」)(中西 輝政)「文芸春秋」文芸春秋 88(14臨増) 2010.12 p70~73

明石 康 あかし・やすし

【図 書】

◇英語のパカヤロー!—「英語の壁」に挑んだ12人の日本人(古屋裕子著) 泰文堂 2009.3 223p

◇カトコトでも、なまっけていても、自分なりの英語でよい(明石康著)「英語のパカヤロー!—「英語の壁」に挑んだ12人の日本人」(古屋裕子編)アース・スターエンターテイメント, 泰文堂(発売) 2012.5

【雑 誌】

◇不安定な世界情勢のなかでアジアはどうなっていくのか?—元国連事務次長・日本政府代表(スリ・ランカ平和構築及び復旧・復興担当) 明石康(明石 康, 田崎 喜朗)「財界人」政経通信社 21(5) 2008.5 p44~47

◇人流インタビュー—この人に聞く(102)「日本人はもっと大志を抱いて世界の平和構築に貢献しよう」と呼びかけている—元国連事務次長 明石康さん(明石 康, 勝又 美智雄)「国際人流」入管協会 22(4)

2009.4 p31~35

◇定番 朝めし自慢 [288] 発芽玄米入りの五分搗きご飯が健康の秘訣です—明石康(国際文化会館理事長・79歳)(出井邦子文)「サライ」小学館 22(12) 通号525 2010.12 p184~186

◇トップ対談(第19回)ソフト・ハードパワー強化した外交を—明石康氏 元国連事務次長 小島明 日本経済研究センター研究顧問(明石 康, 小島 明)「日本経済研究センター会報」日本経済研究センター (1001) 2011.3 p14~17

◇今を語る(第115回)相手の気持ちの内部に入る 明石康氏(元国際連合事務次長、公益財団法人国際文化会館理事長)(明石 康, 根津 義明)「商工ジャーナル」商工中金経済研究所 38(8) 2012.8 p62~65

◇超有識者場外ヒアリング(65) 国際交渉編 明石康先生 元国連事務次長(国際文化会館理事長)(明石康, 神田真人)「ファイナンス:財務省広報誌」財務省, 日経印刷(発売) 53(5) 通号621 2017.8 p28~41

赤根 武人 あかね・たけと

【図 書】

◇赤根武人の冤罪(村上毅太郎著) マツノ書店 2007.1 281.20p

◇第三代奇兵隊総督赤根武人(松岡智訓著) 岩国徴古館 2016.9 83p

赤羽 巖穴 あかば・がんけつ

⇒赤羽一(あかばねはじめ)を見よ

赤羽 隆夫 あかばね・たかお

【雑 誌】

◇インタビュー 新時代のビジネス・パラダイムを問う(第11回)元経済企画庁事務次官 赤羽隆夫さん 福沢諭吉に学べ—“景気探偵”にきく、いまの日本に求められるもの(赤羽 隆夫, 茂木 一之)「企業診断」同友館 56(12) 2009.12 p14~18

赤羽 一 あかばね・はじめ

【図 書】

◇初期社会主義研究—社会主義と基督教 第19号(堀切利高, 山泉進, 志村正昭, 梅森直之編) 初期社会主義研究会, 不二出版(発売) 2006.12 225p

【雑 誌】

◇史料 岩崎華也宛書簡(1) 幸徳秋水(その1) 北一輝・大石誠之助・森近 運平・石川三四郎・西川光次郎・西川文子・赤羽一・座間止水・一木 幸之助・前田英吉・丹後平民倶楽部(田中 真人, 山泉 進, 志村 正昭)「キリスト教社会問題研究」同志社大学人文科学研究所 54 2005.12 p123~156

◇【新紀元】は赤羽巖穴の原点(特集【新紀元】—社会主義と基督教)(松尾 貞子)「初期社会主義研究」初期社会主義研究会, 不二出版 19 2006 p92~97

赤羽 万次郎 あかばね・まんじろう

【図 書】

◇新聞の夜明け—評伝 赤羽万次郎と林政文(小倉正人, 森英一著) 北国新聞社 2018.8 2冊(セット)

◇赤羽万次郎が拓いた道—北國新聞創刊者(小倉正人著) 北國新聞社 2018.8 118p

赤羽 良剛 あかばね・りょうごう

【雑 誌】

◇出でよ! 起業家—起業支援者からの熱きメッセージ(第7回) プレーンフォーラム(株) 代表取締役社長 赤羽良剛さん 謙虚でチャタリングな経営者に(赤羽 良剛, 茂木 一之)「企業診断」同友館 54(7) 2007.7 p49~53

◇この国の未来 大学と企業の知的財産を地域に還元できる産学連携を目指して—プレーンフォーラム株式会社 代表取締役 赤羽良剛(赤羽良剛, 田中 克人)「先見経済」清話会 56(6) 2010.5.1 p10~13

赤松 克磨 あかまつ・かつまろ

【図 書】

◇世に応ふべき範を見ず—地方小都市の旧制中学校出身者群像(原田 朗著) 東京図書出版会, リフレ出版(発売) 2007.5 293p

◇共同研究 転向 1(思想の科学研究会編) 平凡社 2012.2 392p(東洋文庫)

◇吉野作造政治史講義—矢内原忠雄・赤松克磨・岡義武ノート(吉野作造講義録研究会編) 岩波書店 2016.1 481p

【雑 誌】

◇赤松克磨における政治志向の芽生え(福島 良一)「埼玉学園大学紀要・人間学部篇」埼玉学園大学 (12) 2012.12 p314~307.305

日本人物文献索引

政治・経済・社会 2005-2019

2021年7月25日 第1刷発行

発行者／山下浩

編集・発行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本／株式会社平河工業社

不許複製・禁無断転載

(中性紙三菱クレームエレガ使用)

<落丁・乱丁本はお取り替えます>

ISBN978-4-8169-2877-2

Printed in Japan, 2021

本書はデジタルデータをご利用いただくことができます。詳細はお問い合わせください。